



ゼロから1までの距離は、1から千までの距離より遠い

校長 濱田 津世志

年が明け、あっという間に二月が経とうとしています。寒さも徐々に緩み、日没時間も遅くなり、部活動に励む生徒達の元気な声があちこちから聞こえるようになりました。

歳月人を待たず、令和4年度も残すところ一月となりました。生徒達は学年末テストを終え、3年生は公立高校入試・卒業式、1・2年生は修了式を残すのみとなりました。あゆみ(成績連絡簿)が配布され、テスト結果に一喜一憂する生徒達の姿が浮かびます。

3学期は、令和4年度のまとめの学期であると共に、令和5年度0学期として来年度に向けての準備の学期でもある、と生徒には呼びかけています。生徒は、テストや学習定着度調査(1・2年のみ実施)の訂正に取り組み、今年度の学習内容を確実に理解するよう努力しています。教師は、定期テストや各種調査結果を分析し、定着が不十分な学習内容について補充指導に取り組んでいます。

ユダヤの格言に、「ゼロから1までの距離は、1から千までの距離より遠い」というものがあります。常識的には、0から1までの距離は、1から千までよりも近いはずですが。決意して何かを始めることを0から1までの距離に例え、決心して何か取組を始めた段階で、半分は実現できていることを表しています。最初の一步が大切です。勇気を持って一步を踏み出せば、それが二になり、三になり、やがては千以上に到達します。歴史は、人の行動によってつくられてきました。自分の人生は自分の行動で決まります。座して待つ者に自分の歴史はつくれません。

「泣こかい 跳ぼかい 泣こよっか ひっ跳べ！」
皆さんはどんな一步を踏み出しますか？

3年生へのエール

1月末からの私立高校受験から始まった3年生の受験本番へ向けて、1・2年生がエールを送るため、合格祈願の絵馬型にメッセージを書きました。

公立高校の倍率も確定する中、3月の受験当日まであと、1週間ほど。体調に気を付けて頑張ってください。



立志記念講演 立志の集い 2月9日(木)

延期されていた立志記念講演及び立志の集いが、2月9日(木)に実施されました。立志記念講演の講演者として、財部記念病院理事長・柔心館道場館長の西郷昌隆氏をお招きして御講演をいただきました。講演は、自分の進むべき道について真剣に考え始めた生徒にとって、当たり前ではないことに守られていることや、感謝の気持ちをもつ大切さなどを考えるよい機会になりました。また、その後に行われた立志の集いでは、各学級の代表5名が、「これからこんな生き方をしたい」という思いを込めた座右の銘について紹介しました。代表を選出する前には、各学級で全員がそれぞれの決意を公表しています。発表を終えた2年生は、「自分の決意をみんなの前で発表することで、さらにこの決意を大事にしようと思った」と頼もしい表情を見せてくれました。



吉井淳二記念大賞展

南九州美術展 結果

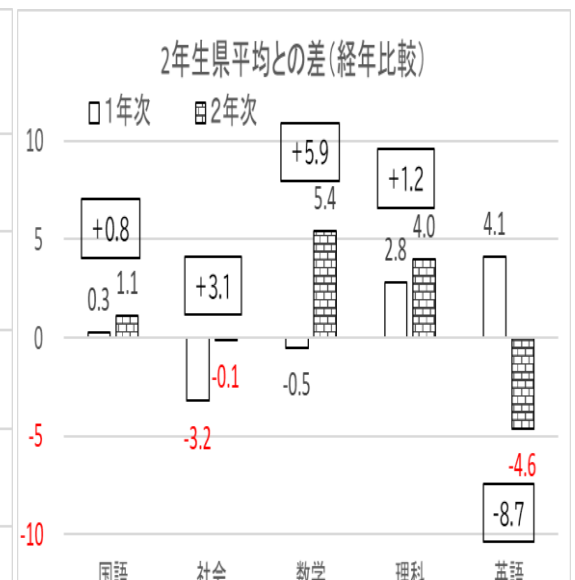
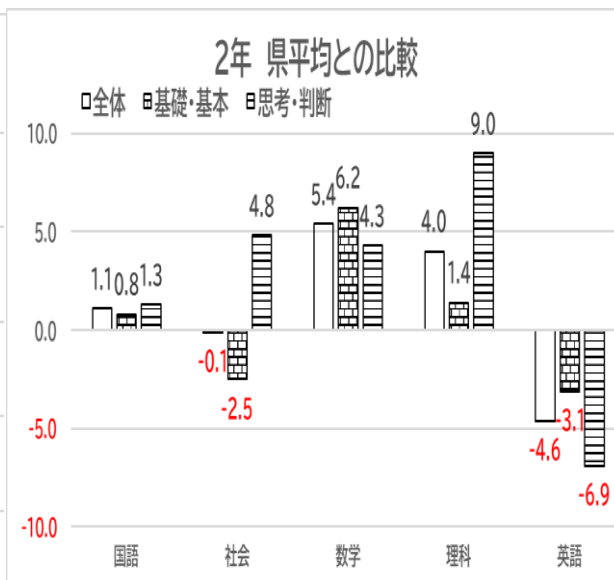
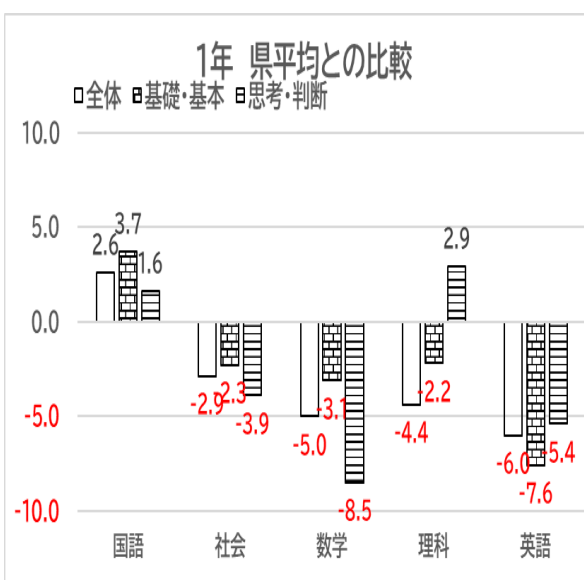
吉井淳二記念大賞展

秀作賞	3年	****
入選	3年	東園世夏
入選	3年	岩元結月
入選	3年	竹内愛結
入選	3年	田尻 和
特選	2年	東丸杏奈
特選	2年	松野下和奏
奨励賞	1年	****
秀作賞	1年	奥 結奏
入選	1年	中丸叶恵

南九州美術展

特選	3年	東園世夏
入選	3年	****
入選	3年	竹内愛結
入選	2年	鮫島実柚
入選	2年	東迫美優

鹿児島学習定着度調査(結果)



1月に行われた鹿児島学習定着度調査の結果をお知らせします。各教科「全体」は本校平均通過率を県平均と比較したものです。「基礎・基本」は基礎・基本問題の通過率比較、「思考・判断」は応用的な問題の通過率比較を示しています。

教員は各教科の課題を分析し、今後の授業改善に活かしていくことになります。それぞれの教科で返却された調査問題と学年末テストをもう一度やり直すなどして、学年の総仕上げに活用しましょう。